

赤穂市下水道事業経営戦略ロードマップ 資料 4

令和 8 年 3 月
赤穂市下水道事業

1 これまでの主な経営健全化の取組

赤穂市下水道事業は、農業集落排水施設の統廃合等のストックマネジメントによる事業費の抑制、地方公営企業法の適用による経営・財務状況の見える化等、経営健全化に努めているところです。しかしながら、毎年度純損失を計上するなど厳しい経営状況にあります。

2 経費回収率向上に向けたロードマップ

国土交通省の「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進」に基づき、経費回収率の向上に向けたロードマップを以下に示します。令和 7 年度に下水道使用料の改定を実施しましたが、その後も継続的にモニタリングを行い、3～5 年スパンで下水道使用料の適正な在り方を検討し、経営戦略へフィードバックするサイクルを確立します。

経費回収率向上に向けたロードマップ

項目 \ 年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
経営戦略計画期間	←					→				
経営戦略の改定	●					●				●
ロードマップ策定・改定	●					●				●
使用料の検討	←					●	→			

3 業績目標

ロードマップに従い、経費回収率向上に向けた業績目標を以下に示します。将来的に経費回収率 100% 以上を目指し、計画期間内に 90% を上回る目標設定とします。具体的には、下水道使用料について少なくとも 5 年に 1 度改定の必要性を検討するほか、経営戦略本編に記載の各事項について取り組みます。

項目 \ 年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
使用料収入（百万円）①	828	889	881	873	866	859	1,022	1,013	1,004	996
汚水処理費（百万円）②	1,010	1,013	1,024	1,043	1,061	1,073	1,085	1,052	1,046	1,038
経費回収率（%）①/②	82.0%	87.7%	86.1%	83.7%	81.7%	80.0%	94.2%	96.3%	96.0%	96.0%

4 進捗管理と経営指標

経常収支比率が 100% を超える安定的な事業運営を目指します。本経営戦略については、毎年度決算時に検証・見直しを行うとともに、現在組織している「赤穂市上下水道事業在り方検討委員会」においても検証・評価を行います。また、本経営戦略は、5 年に 1 度（次回は計画期間の中間年度である令和 12 年度）改定を行います。

項目 \ 年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
経常収益（百万円）a	2,002	2,115	2,114	2,124	2,121	2,111	2,293	2,237	2,233	2,226
経常費用（百万円）b	2,054	2,061	2,082	2,121	2,157	2,183	2,207	2,139	2,127	2,111
経常収支比率（%）a/b	97.5%	102.6%	101.5%	100.1%	98.3%	96.7%	103.9%	104.6%	105.0%	105.4%